広報 さめがわ

昭和57年
9月号
No. 345
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

村政諸施策の効果を確める議員団の視察



毎年行なわれている村議会議員団の村内視察が、今年は８月20日に実施されました。

主に昭和56年度事業予算で建設された道路や公共建物、補助事業でつくられた産業施設など、また災害復旧事業、雪害対策事業など 100件以上の調査で、なかなかの強行軍でした。

終って山村開発センター視聴覚室で、総括的な質疑検討が行なわれました。

写真は２年継続事業で完成間近い農業者トレーニングセンターの内部構造を視察する一行です。

- ⊙ ９月15日　敬老会
- ⊙ ９月22日　戦没者追悼式
- ⊙ ９月21日～30日　秋の全国交通安全運動

今月の人口
（９月１日現在）

		前月比
人口	5,586	（＋９）
男	2,770	（＋５）
女	2,816	（＋４）
世帯	1,128	（＋１）

従五位勲五等端宝章授与

故　松本　清寿氏

本村大字富田字二反田出身、元小中学校長故松本清寿氏は、長年に亘り学校教育に寄与した功績が顕著であった事績が認められ、6月1日付きで内閣から「従5位勲5等端宝章」を授与されました。

位記・勲記・勲章は8月9日矢部教育長から遺族の長男松本精一氏に伝達されました。



盛大に行なわれた村内各校小学生のラジオ体操コンクール。この若い後継者たちの健康と、あふれる活力に大きな期待をかけましょう。

入賞チームは次のとおりです。

◇優秀学校賞　西山小学校児童会

◇優秀チーム賞　西野5方部、西山南A、西山東A、西山北A、西野1方部

おらほのうみ(41)

自然災害への対応

村長　石田卯子八

今年は九月一日防災の日を中心に防災週間が設けられ、台風、豪雨、地震などに対する認識を新にし、対策の万全を期して被害を最小限に止めることができるよう、それぞれ工夫努力すべきことが要請されました。

昔から二百十日や二百二十日が農家の厄日とされたのは、その頃が稲の開花直後の乳熟期に当り、台風などにより花器損傷のため登熟不能になって白穂になり、病害の発生を促して凶作の原因となったからであります。

しかし近年の台風は九月に来るものよりは、八月に来る方が多くなったようであります。

今年も八月一日に台風一〇号の襲来があり、葉たばこ、蔬菜その他の農作物に大きな被害を与え、また村道、農林道、河川、水路その他農業施設にも著大な被害がありました。

更にわが村の地形地質から容易に避けられない山崩れが各地に発生し、急傾斜地の崩落による住宅その他の被害も多大であります。

これらの被害で復旧事業が国の助成の対象になると思われるものについては、九月中に行なわれる国の査定をうけ、高率の国庫補助を得て、復旧工事を進める予定であります。

八月二六日には台風一三号が西日本を襲いましたが、進路を九州東岸から日本海に直上し、温帯低気圧に衰えたため、局地的に大雨強風があったものの、この地域にはそれ程の被害がなかったことは幸でした。

当地域にとって、台風、豪雨よりも恐るべき気象災害は冷害であります。昭和五五年、昭和五六年と続いた後だけに、七月から八月上旬にかけての低温には、三年続きの冷害必至かと大変心配させられました。

それが八月中旬以降の高温で持直し、平年より一〇日以上も後れた水稲の出穂開花もどうやら終って、成熟期に入りました。これからの好天平穏を祈るばかりであります。

日本は自然災害の多い国であって、いつでも防災の心構えを持たなければなりませんが、先般の長崎水害など人命損傷の多かった突発的な大災害を見るにつけ、災害に対する平素の認識、とっさの場合の自衛措置、早期避難などの重要さが深く心に刻まれます。

行政の災害防御対策、復旧対策も多面的に実施されなければなりませんが、行政が機能するまでの措置としては、集落の相互援助機能に頼らざるを得ないので、集落のもつ協力相助の体制が維持強化されることが望まれるわけです。

今月の納税

固定資産税（第三期分）
国民健康保険税（第四期分）
納期限　九月二五日

心配ごと相談

九月二〇日（月）
午前一〇時～午後二時
山村開発センター
行政相談

おめでた

七月
菅田　関根　初重　父関根一男
大石草　鈴木　悠弘　父鈴木次男
薄久保　高木　善央　父高木定雄

八月
真坂　緑川　優子　父緑川　茂
木之根　赤坂理恵子　父赤坂博男
青生野　岡部　和宏　父岡部忠市
大塩　岡部　隼人　父岡部　源
火打石　佐藤　大輔　父佐藤秋男
岩野草　根本　武雄　父根本昌雄
大戸中　小松　愛　父小松正人

おくやみ

八月　年齢世帯主
滝ノ下　遠藤　トリ97歳遠藤稲穂

新しい産業として
発展が期待されるハウストマト





8月20日の村議会議員さん方の村内視察で、これから伸びゆく村の新しい産業として、関心を呼んだのがトマトのハウス栽培でした。これは水稲の転作基盤合理化促進事業で補助を受け、低湿の水田を暗渠排水で乾田化し、熱心な農業青壮年の皆さんが計画して栽培に踏み切ったものです。

羽双地区だけで23棟のハウスが立ちならび、成育も順調でまさに壮観です。

キジビナ一〇〇羽を
村内休猟区に放鳥

棚倉林業事務所員や鳥獣保護委員立合いのもとに、八月三〇日キジビナ一〇〇羽が猟友会員の手で村内の休猟区に放たれました。

このヒナは、ふ化後二か月程度で、まだ野性化していないため、育つまでに弱ってしまうのもありますので、もし弱っているキジビナを見つけたら、お近くの猟友会員又は役場経済課までご連絡ください。



キジビナを放す猟友会員



機敏な動作で見事な操法

第四分団（渡瀬）が
ポンプ自動車の部で入賞
―県下消防操法競技大会―



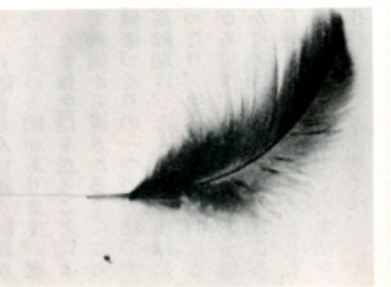
県消防協会長から表彰される第4分団

福島県消防操法競技大会は、八月二五日郡山市の陸上自衛隊郡山駐とん地営庭で開催されましたが、東白川地方の代表として本村から出場した第四分団が、ポンプ自動車の部で見事五位に入賞しました。

この大会には、県消防協会の各地方支部の競技を勝ち抜いてきた代表一五チームが参加し、盛んな声援の中で実施されました。

選手名　芳賀元治、国井俊二
国井清敏、赤坂孝男
山形仁、芳賀敏彦

やさしさを隣人に
あなたの胸に赤い羽根を



10月1日から、赤い羽根の共同募金運動が始まります。

今年度は、共同募金運動発足35週年に当たることから、これを記念して、老人と障害者の生きがい対策のための全国共通特別配分が行われます。

やさしさを隣人に ― 今年もあなたの胸に赤い羽根を！

9月15日は敬老の日

9月15日～9月21日 老人福祉週間

九月一五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は老人福祉週間です。

この週間は、すべての国民が、これまで多年にわたって社会に貢献してこられたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、お年寄り自らも、常に心身の健康に注意し、今日まで培ってきた知識と経験をより一層社会のために役立てていただこうというものです。

今年村内では、赤坂西野字浅屋敷の鈴木ツルさんが、満百一才の誕生日を迎えられ、また三九名の方々が新たに七〇歳になられました。心から長寿をお祝いするとともに、ますますの健康をお祈りいたします。

鮫川村長寿番付

(57.9.5現在)

順位	氏名	年令	生年月日	住所	世帯主
1	鈴木　ツル	101	明治14年 5月25日	赤坂西野字浅屋敷	カツ
2	藤田　リン	93	〃 21年11月 3日	渡瀬字青生野	昇
3	橋本　政春	92	〃 22年12月15日	赤坂中野字道少田	正嗣
4	星　フヨ	91	〃 24年 1月11日	渡瀬字越虫	武
5	坂本　キノ	91	〃 24年 6月15日	富田字反田	恵司
6	湯坐　武弥	90	〃 24年10月15日	赤坂中野字真坂	和弥
7	関根　ブン	90	〃 25年 1月28日	西山字西野内	初男
8	鈴木　ミイ	90	〃 25年 2月15日	赤坂中野字道少田	ミイ
9	岡部キセノ	89	〃 26年 7月25日	富田字前沼	伝
10	前田　実	89	〃 26年 8月27日	赤坂東野字官代	孝徳

高齢者の生きがいは健康のながた

健康こそ生きがいの源

〈病気になりがちな高齢期〉

多くの人にとって、老後における不安・心配ごとの中で最も大きなウエートを占めているのは、健康の問題です。

高齢期は、若い時に比べて病気にかかりやすい、という意識が強くあるからでしょう。事実厚生省の調査によりますと、お年寄りが病気にかかっている率（有病率）は、若者の八～一〇倍にもなっています。

高齢期の有病率が高いのは、生理的な老化に加えて高血圧や糖尿病といった成人病が深く関連しているからで、一般的に四〇歳以上の人がかかる病気には老化が併存しているのが実情です。

このように、高齢期は病気にかかりやすい時期ですが、一方では、人生のなかで最も余暇時間に恵まれた時期でもあります。こうした〝貴重な時間〟を病気の治療に費やしてしまっては、大事な老後の生活が灰色になってしまいます。その意味で、健康こそ豊かで活力ある老後を支える源と言えるでしょう。

自分の体は自分で守る――丈夫な体を保つには、まず自分自身がふだんから健康に留意することが必要です。その際、大切なことは、バランスのとれた食事をとるとともに、適度な運動を心掛けることです。

〈積極的な健康管理を〉

同時に、成人病に対するある程度の知識を身につけるとともに、お年寄り自身はもちろん家族の方も十分気を配るようにしたいものです。

また、老人のための健康診断など公的機関による各種の検診は、健康管理のために積極的に利用するようにしましょう。

一方、成人病の予防は若い時から始めなければならないと言われています。若い人たちも、将来健康な老後を迎えるために、いまから食生活その他日常のいろいろな面で、成人病の予防を心掛ける必要があります。

〈張りのある充実した生活を〉

さらに、健康を保つうえで大事なことは、日々、充実した生活を送ることです。お年寄り仲間とゲートボールを始めるなど、積極的なグループ活動に参加したら、お医者さんに通う回数が減ったという例があります。充実した老後生活を送ることによって病気から遠ざかる――これも健康づくりの一つの方法です。

高齢期は、ともすれば孤独に陥ったり、生活面で消極的になりがちです。生きがいのある健やかな老後を送るには、日ごろから健康に十分注意するとともに、目標のある充実した生活を心掛けることが大切です。



相撲の部に出場した青年会員

県体育交歓祭

堂々相撲の個人戦で入賞

―鮫川村青年会の実力

去る八月二八日、二九日に福島市で行われた県体育交歓祭に鮫川村青年会から、バレーボール（男女）野球、ソフトボール、バトミントン、相撲の5種目に出場して鮫川健児の実力を発揮しました。

健闘の結果、相撲（個人戦）の軽量級で緑川一良君（西野）が第三位、重量級で矢吹弘君（西野）が第三位に入賞するという好成績をおさめました。

めぐり各課

企画調整室
畜産センター
山村開発センター
診療所

今月は企画調整室、畜産センター、山村開発センター、診療所です。

企画調整室

企画調整室は、村行政の総合企画及び調整に関する事務を担当しています。

室長　蛭田　三夫（棚倉町）

◇村行政の総合企画及び調整に関すること

◇村の長期振興計画に関すること

◇地籍調査に関すること

◇白河地方新広域市町村圏計画、山村振興計画、過疎地域振興計画、辺地総合整備計画、国土利用計画、電源交付金事業整備計画及び土地取引届出事務に関すること

畜産センター

畜産センターは、本村農業の基幹部門として定着しつつある畜産の、経営改善及び技術の指導、相談等に関する事務を担当しています。

所長　中井　光徳（広畑）

◇畜産センターの事務を掌理し所属職員の指揮監督をする。

◇家畜診療及び畜産指導に関すること

◇阿武隈山系開発事業に関すること

主事　新妻　義美（青生野）

◇畜産センターの一般事務に関すること

◇畜産振興補助事業に関すること

◇肉用牛貸付に関すること

◇東白川地方畜産振興施設運営組合に関すること

嘱託員　鈴木　守弘（馬場）

◇家畜防疫に関すること

◇阿武隈山系開発事業調査に関すること

山村開発センター

山村開発センターは、本村農林業の経営改善、生活改善及び後継者育成等に関する事務を担当しています。

㊟所長　鈴木　英亮（大塩）

◇開発センターの事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

主査　鈴木　和則（蕨ノ草）

◇農林業の経営改善、技術の開発及び研修に関すること。

◇農村環境の整備及び生活改善並びに保健指導に関すること

◇住民の親和、集会等に関すること。

◇後継者育成に関すること。

用務員　窪木マサ子（大塩）

◇センター内の清掃に関する業務

診療所

診療所は、鮫川村国民健康保険の事業のひとつとして運営され、住民の保健及び医療を担当します。

診療科目は内科、外科で、診療時間は、平日は午前九時から午後五時まで、土曜日は午前九時から午後零時三〇分まで。

病気の診察治療ばかりでなく、健康相談にも応じます。

所長　板谷　年城（医師）

◇医療及び薬事に関すること。

◇診療所の管理に関する事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

専門看護婦　山形カネ（中野町）

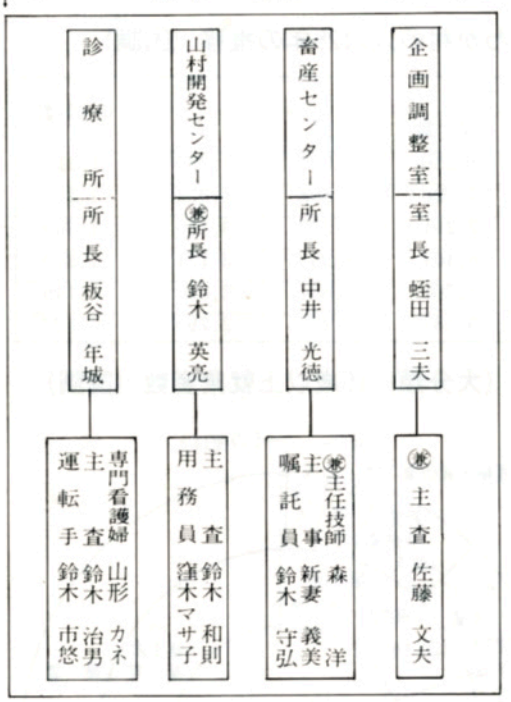
◇看護業務に関すること。

主査　鈴木　治男（道少田）

◇患者の受付、診療報酬等の請求、収納、その他診療所事務全搬に関すること。

運転手　鈴木　市悠（新宿）

◇往診、患者輸送等の公用車の運転に関する業務



秋の全国交通安全運動
9月21日～9月30日

九月二一日（火）から三〇日までの一〇日間、秋の全国交通安全運動が行われます。

今回の運動は、さらに一層交通事故の防止を図るため、すべての人が正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけていただくことを目標に、

◇歩行者及び自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止

◇二輪車の安全利用の徹底

◇安全運転の確保、特に無謀運転の防止

の三項目を重点に、幅広い運動が展開されます。

大石草地区の皆さん
就業調査にご協力を

一〇月一日現在で、就業構造基本調査が全国的に実施されます。この調査は、国民の皆さんの就業不就業などの実態を詳しく把握し国や地方の雇用に関する政策を作り、実行していく上で必要な基礎資料を得るために行うものです。

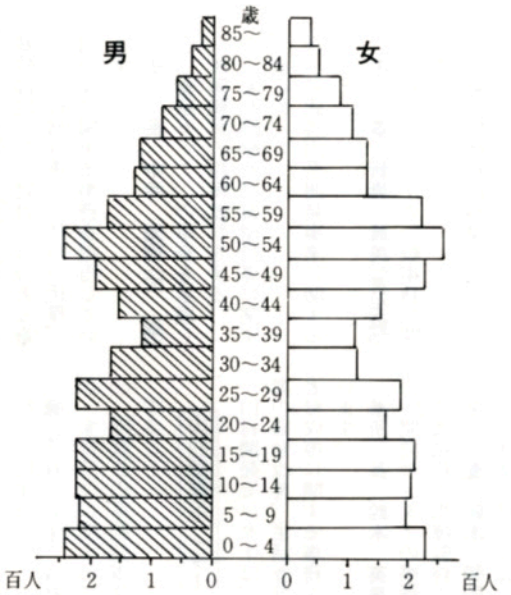
調査のために、鮫川村では、大石草地区から約一〇世帯が一定の方法により選ばれます。選ばれた世帯には、九月下旬に統計調査員が伺いますので御協力をお願いします。

村のすがた

全国いっせいに行われた最も大規模な統計調査である国勢調査、世界農林業センサスの結果が、このほど発表されました。

国勢調査は五五年一〇月一日、世界農林業センサスは五五年二月一日に行われたもので、これらの調査結果とその他主要な統計調査結果をもとに、村のすがたを数字で見てみましょう。

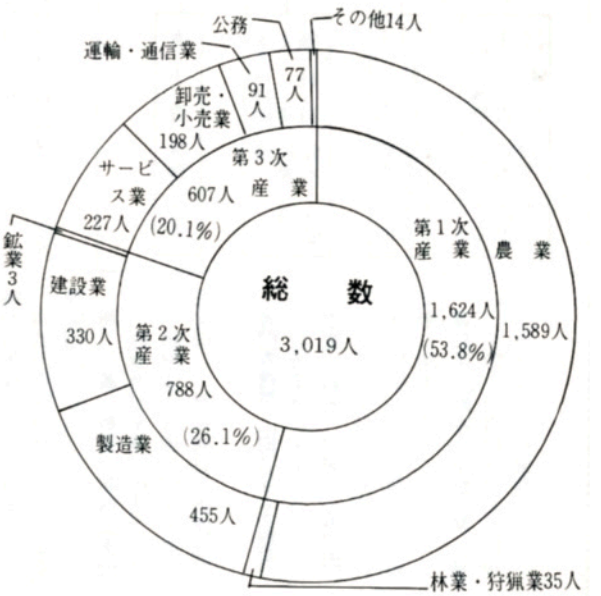
年齢（5歳階級）男女別人口（国調）



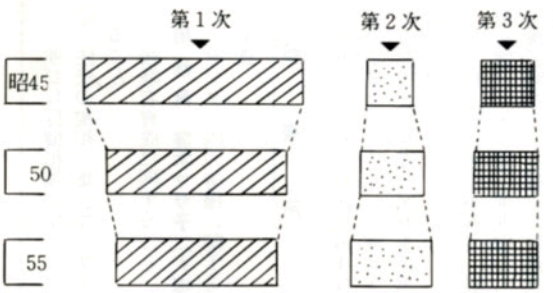
わが村の人口25年の推移（国調）

区分／年次	人口 総数	人口 男	人口 女	世帯数
30	8,256	4,019	4,237	1,210
35	7,926	3,868	4,058	1,255
40	7,291	3,572	3,719	1,249
45	6,404	3,230	3,174	1,200
50	5,700	2,834	2,866	1,146
55	5,537	2,738	2,799	1,127

産業（大分類）15歳以上就業者数（国調）



就業者の産業別推移（国調）



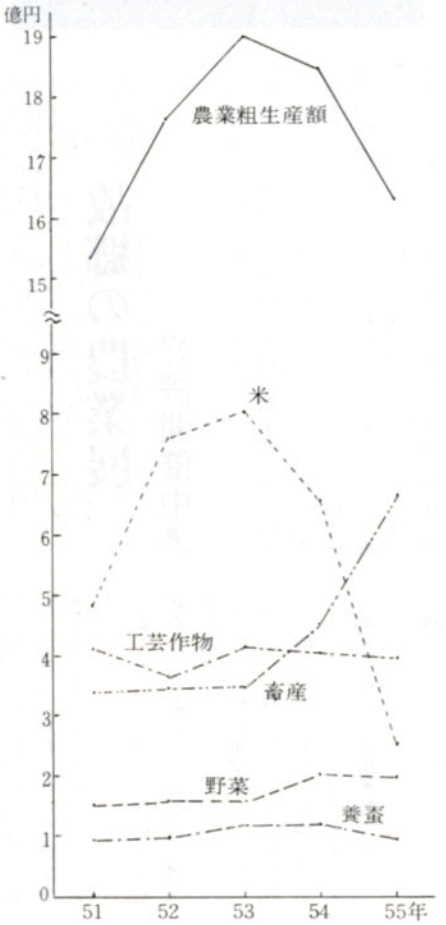
国勢調査　国勢調査は、大正九年に第一回の調査が行われ、以後、終戦直後の昭和二〇年を除き、五年ごとに実施されている。調査は、わが国の人口構造や世帯構成、産業、就業、居住など幅広い調査が行われる。

世界農林業センサス　世界農林業センサスは、わが国の農林業の総資源量と基本構造の動向等をは握し、今後の農林行政に必要な基礎資料を整備するとともに、「経済統計に関する国際条約」に基づき、FAO（国際連合食糧農業機関）が一〇年に一度提唱する世界農業センサス計画に参加して農林業の国際比較に必要な統計を作成する。また、この中間の五年ごとに農業センサスが行われる。

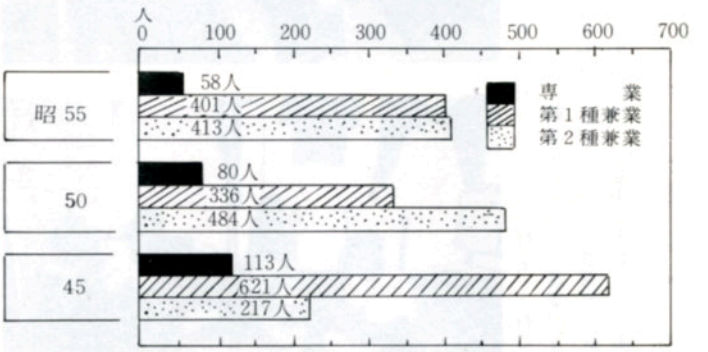
商業統計調査　商業統計調査は、昭和二七年に第一回調査を実施して以来、昭和五一年調査までは二年ごとに実施され、その後は三年ごとに改められた。調査は、販売活動の実態や、全国的な商品の流れなどを明らかにする。

統計で見る

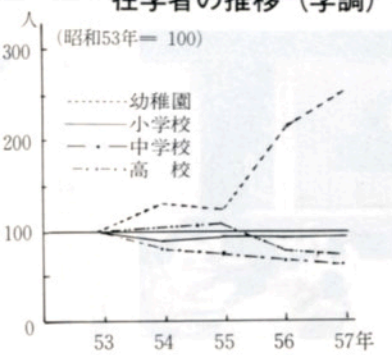
農業粗生産額・生産農業所得の推移（農統）



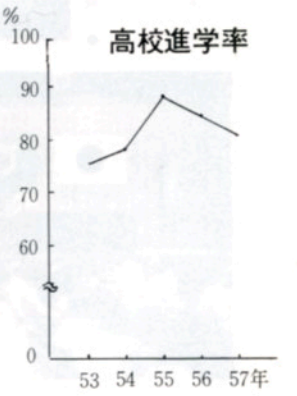
専兼別農家数の推移（農セ）



在学者の推移（学調）



高校進学率



工業の推移（工調）

年次	工場数	従業者数	生産額
50	11	221人	84,971万円
51	11	228	60,042
52	11	237	60,796
53	14	255	80,125
54	14	269	100,238
55	13	282	133,518

商業の推移（商調）

区分／業種別	商店数		従業者数		年間販売額	
	51年	54年	51年	54年	51年	54年
卸売業	7	9	16人	24人	万円 2,824	万円 7,290
小売業	86	84	181	198	84,724	98,115
飲食店	5	7	11	13	836	1,586
計	98	100	208	235	88,384	106,991

農林水産統計年報　農林水産統計年報は、福島県における農林水産業に関する基本的な統計を、東北農政局福島統計情報事務所の調査結果を主とし、これに他官庁で作成された統計を加え編さんされている。

学校基本調査　学校基本調査は、昭和二三年から始められ、毎年五月一日現在で実施される。調査は、幼稚園から大学までの学校で、その学校数、学級数、在学者数、教職員数等わが国の学校教育全般に関し調査され、当面するかずかずの教育問題を解決する基礎資料として利用される。

工業統計調査　工業統計調査は、明治四二年に始められた伝統ある調査で、毎年一二月末日現在で実施される。調査は、事業所数、従業者数、製造品出荷額等わが国製造業のすがたや製造業活動の状況を明らかにする。

注　国調＝国勢調査、農セ＝世界農林業センサス、工調＝工業統計調査、商調＝商業統計調査、学調＝学校基本調査、農統＝農林水産統計年報

公民館だより

民俗資料にみる 故郷の農業展 好評開催中！





鮫川村歴史民俗資料館では、去る八月一二日から「民俗資料にみる―故郷の農業展―農耕文化を中心に」を開催し一般に公開しています。

この「故郷の農業展」は、私たちの身近かな生活文化財である農耕にかかわる民俗資料で、稲作、畑作の耕作用具、管理用具、収穫、調整用具を中心にして、衣、食、住に関する資料、さらに租税、民間信仰、民俗芸能、民話などの資料を展示し、農耕文化の生活史を明らかにすることを意図しています。

去る八月一二日の開催初日から鑑賞者が多数おとずれ好評を得ております。

この「故郷の農業展」とともに一〇月三一日まで、「土に埋れた文化財展」もあわせて開催していますので、どうぞ一度ご来館の上、ご鑑賞下さい。入場無料です。

歴史民俗資料館では八月一二日から一〇月一杯まで、村の農業の歩みを一目でわかるように、興味深いふるさと農業展を開いております。若い人たちが見たことのない古い農機具や民具が展示され、夏休み中の学生生徒や、旧盆中は多数成人の参観者でにぎわいました。

第5回 社会学級を開催



第五回社会学級は、八月三〇日八二名の学級生が出席し、山村開発センターを会場に開かれました。

講座の内容は、「漢方薬の作り方とその効用」について浅川町野草会長・山田文男先生の講演と、「家庭生活と老人の役割」について西野小学校長・橋間博先生の講演を受講して大変勉強になり、好評でした。

婦人学級を開催 —第二回—

第二回婦人学級は、八月三〇日一六名の学級生が出席し、山村開発センターと、村民運動場を会場に開かれました。

講座の内容は、「これからの家庭教育」について渡瀬小学校長・近藤ヤエ先生の講演を受講し、終って学級生全員が、初めてのゲートボール競技をたのしみ、意義ある一日をおくりました。



愛情の尊さを語る！

民話劇「花咲き山」を 800名で鑑賞



民話劇「花咲き山」の一場面

八月二三日、山村開発センターで、民話劇「花咲き山」が鮫川村教育委員会後援、鮫川村小中学校長会主催で開催されました。

民話劇「花咲き山」は、東京に事務所をもつ劇団「民話芸術座」が三場七〇分、「善行をすると花が咲く」をテーマに、愛情の尊さを語る公演で、村内の幼稚園児、小学生、中学生八〇〇名が鑑賞しました。

ふるさとの民話と伝説 —38—

昔、真坂部落に厄病はやる

昔、むかし、中野村真坂部落に、とてもよく働く百性じいさんがおったという。その真面目じいさん、田の草取りの時期になると、「田の草を取れば稲のためにもよいし、又草の実がこぼれないで草も生えないし」と一人ごとをいいながら取ったという。

旧暦六月一五日。この日は天王様（百性の神様らしい）といって、天王様を祝う日のため、農家の休日であったが、じいさんはその日も休まず、一生懸命、朝から田の草を取り、取った草を道に投げ上げていたという。

ところがこの日は天王様で休日。厄病神様（厄病とは、赤痢、腸チフスの様な伝染病）がお通りになるところであった。運が悪く、投げ上げた田の草が、その厄病神様の足に当り、真面目に働く百性じいさん、急に病気になり、仕事をやめて家に帰ると、だんだん熱が出て重い病になったという。これが厄病で、つぎからつぎへと真坂部落に広ろがり、百性じいさんは部落の皆さんに、大変迷惑をかけたという。田の草というものは岡に投げないで、よく丸めて田の中に踏んごむものだという。又田の草を岡に投げては、ヨセ草を刈るのにも刈りづらいものである。

だから人の休む時には休んで、人と違ったことはやらない方がよいときかされました。又戦前までは地域によっては、旧六月一五日は、天王様といって農家の神事といい、農作業を休んだものでした。

故湯座仙次郎翁健在の時語り し話

吉田　喜雄

鈴木春詩画伯の遺風を偲ぶ遺作展





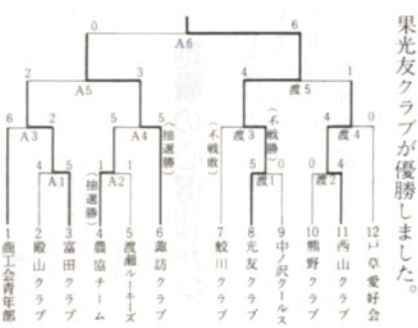
村が生んだ天才芸術家鈴木春詩画伯が逝去されて早くも7年。先生を追慕する熱心な愛好家の皆さんが発起して、遺作展が8月18日から3日間山村開発センターで開かれました。

作品は青年時代のものから晩年の大作に至るまで百数十点に及び、会期中は連日多数の参観者が列をなし、今はなき画伯の遺風を偲びました。

民友杯争奪野球大会
光友クラブが優勝

鮫川村体育協会（会長根本伝）主催鮫川村野球連盟（鈴木三千男）主管、福島民友社後援による第二回民友杯争奪野球大会が、去る八月八日村民グランド、渡瀬区運動広場の二会場で開催されました。

一二チームが参加し、力戦の結果光友クラブが優勝しました。

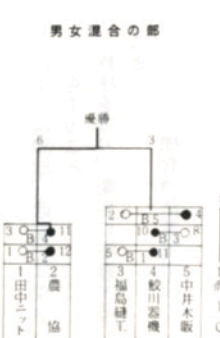


職場・職域球技大会
（ソフトボール）

八月二九日、午前八時から村民グランドを会場に、村体育協会主催の昭和五七年度鮫川村職場職域球技大会（ソフトボール）が開かれ、前年度優勝の鮫川器機チーム外、一一チーム（男子の部七チーム、男女混合の部五チーム）が参加し、熱戦が展開されました。

結果は次のとおりです。



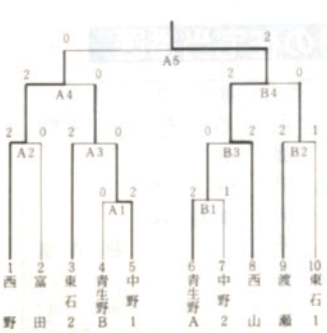


少年少女球技大会
（中学生バレーボール）

鮫川村教育委員会主催の昭和五七年度少年少女球技大会（中学生バレーボール）が、八月一〇日鮫中体育館で開催されました。

前年度優勝の青生野チーム代表瀬谷久仁男君の選手宣誓があり、一〇チームが参加しました。

結果は次のとおりです。



国民年金・厚生年金保険の年金額が引き上げられます

「国民年金法等の一部を改正する法律」が昭和五七年八月六日、第九六通常国会で成立し、同月一三日に公布されました。

改正のあらましは次のとおりです。

一　拠出年金

▼年金額の改定

昭和五七年度の特例として、昭和五六年度の全国消費者物価上昇率（四・〇%）を基準に、厚生年金保険については昭和五七年七月から、拠出制国民年金については同年八月から、それぞれ引き上げられます。

▼改定年金額の支払時期

○厚生年金保険の老齢・障害・遺族年金については、八月の定期支払期に旧年金額で三か月分（五、六、七月分）を支払っていますので、一一月支払期に新年金額で計算された八、九、一〇月の三か月分に七月分の差額分を含めて支払われることになります。

○拠出制国民年金については、九月の定期支払期に六月分と七月分は旧年金額で、八月分は新年金額で支払われます。

二、福祉年金（昭和五七年九月から引上げ）

老齢福祉年金

一級　三六、〇〇〇円から三七、七〇〇円

二級　二四、〇〇〇円から二五、一〇〇円

母子、準母子福祉年金

三一、二〇〇円から三二、七〇〇円

新年金額での支払いは、昭和五七年一二月に、八月分は旧年金額で、九月分、一〇月分及び一一月分は新年金額で支払われます。

村職員採用候補者試験
受　付　中

職　種　短大卒（保　母）
　　高校卒（一般事務）

受付期間
　9月3日 ～ 9月30日

詳しくは回覧文書でお知らせしましたが、不明な点は総務課におたずね下さい。

技術専門学生を募集
—県立石川技術専門校—

◇建築科　30　名（養成30）
◇左官科　30　名（養成20、転職者10）

▶応募の手続◀

○応募資格　中学校・高等学校卒業者（卒業見込者）及び転職者
○願書受付　昭和57年11月1日～昭和57年11月25日
○試験日時　昭和57年11月26日
○試験科目　国語、数学、社会
○合格発表　昭和57年11月27日

詳しくは、石川技術専門校（☎02472—6—3232）へおたずねください。

ゴミの収集日

収集コース	種別	収集曜日	10月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	毎週月木曜日	4.7.14.18 21.25.28
	不燃物	隔週金曜日	8.22
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	毎週火木曜日	5.7.12.14.19 21.26.28
	不燃物	隔週金曜日	8.22
鮫中～真坂～寅助平～茅～酒垂～清右～折戸～水口～官沢コース	不燃物	隔週木曜日	7.21
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	隔週水曜日	6.20
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	月1回4週毎の金曜日	1
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	隔週金曜日	8.22

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月日（曜）	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
10月3日(日)	阿部	車田	
10日(日)	藤田	根本	
11日(月)	勝田	厚生病院	
17日(日)	菅原		慈泉堂
24日(日)	薄葉	石川	
31日(日)	大木		木村

地震の心得10か条

日本は世界の地震の一〇%を引き受けているといわれるほど地震の多い国です。体で感じることのできる〝有感地震〟は、一年間に千件前後発生しています。

地震が起った時は、あわてずに次の事項を守り、生命身体の安全を図りましょう。

一、丈夫な家具などで身を守ること
二、すばやく火の始末をすること
三、あわてて戸外に飛び出さないこと
四、火が出たら、まず消火をすること
五、避難は徒歩で、持ち物は最少限にすること
六、狭い路地、へいぎわ、がけや川べりに近寄らないこと
七、山津波、がけ崩れに注意すること
八、余震を恐れず、デマに迷わないこと
九、海岸では津波、低地では浸水に注意すること
十、秩序を守り、衛生に注意すること

棚倉消防署鮫川分遣隊



火事と救急車は１１９